

心得 やるべからず

静かに過ごす、列に並ぶ、他の人の話し声を我慢するなどができない人を、理由も聞かずに、すぐに指摘したり、排除する。

3

避難所での心得

5 慢性疾患・基礎疾患のある避難者への対応

6 褥瘡のある人

- 褥瘡の有無を尋ねる。
- 褥瘡の部位とおよその範囲・基礎疾患・罹患期間をチェック。
- 被覆材に関しては、あるもので交換するか、現在のもので支援を待つ。
- 除圧できるように、褥瘡部を避ける体位変換を行う。
- 避難所の状態や環境などできちんと除圧や継続した処置・栄養管理などが困難と思われたら、介護老人施設などの介護主体の施設の避難所に移ってもらうように手配する。
- おむつ交換が頻回の人や、経口摂取に制限があり介護食が必要な人も、介護主体の施設への移動を検討する。

7 アレルギー症状（アナフィラキシー型）のある人

- 避難所で子どもが食事後に、顔面や皮膚の広範囲の発赤・呼吸困難・血圧低下・めまい・意識障害などの症状が出現する。

- 保護者や周囲の人に卵や小麦粉・ピーナツ・ソバなどでのアレルギーの既往を尋ねる.
- ハチなどの虫刺されや服薬の有無を尋ねる.
- 呼吸困難（喉が腫れて発生）や血圧の低下が強ければ、死に至ることもあるので、医療機関への救急搬送を手配する.
- 救急隊には、アナフィラキシーショックの疑いとアドレナリン注射の必要性についてかならず伝達する.



POINT パンやソバ・ピーナッツなどの含まれた食品を配布するときには、アレルギーのある方は食べないでください、とアナウンスしながら配布する。小麦アレルギーなど、あらかじめ分かっている場合には、原因食品を除いたものを食べてもらうか、手に入らない場合には、手に入る避難所や被災していない大都市に移動してもらう。